

## リビング(平面図③)

▼キッチン(平面図④)  
リビングやダイニングを見渡しながら家事をすることが可能。動線にも配慮し、ドアの向こうには家事コーナーを新設



最新情報は  
コチラで  
チェック!



創業41年 増改築 68,410軒 を誇る

**土屋ホームトピア**

お客様相談室

フリーダイヤル 9:00~18:00

0120-406-128



シミュットハンマー試験でコンクリート強度のチェックもしっかり行い、耐震補強



▲ダイニング(平面図⑤)  
吹き抜けの下にテーブルを配して開放感を演出。食卓の雰囲気づくりにも一役買っている

K邸は、Kさまが30代のころに建てた家。家族のことを考えながら造り上げた念願の注文住宅です。自分でできる限りのメンテナンスも行ななど、とても大切にして住んでいたと聞っています。

ところが築30年を目前、「奥さまが寒さや結露のことをたびたび訴えるようになりました。

「冬は廊下やトイレが本当に寒くて、いつかヒートショックで倒れるのではないか」と本気で心配しました」

見た目の古びた感じも気になるようになってきて、Kさまたちはついに家を建て替えることを決意。地元・苫小牧や札幌まで足を伸ばして

情報収集を始めます。その中である迷いも生じてきました。それは建

て替えるしか本当に道はないの

だろうか?といつづります。

実際に訪れた複数のハウスメー

カーでは、解体の費用だけで驚くよ

うな金額を提示されました。そん

なときに出会ったのがトピアです。

基礎のコンクリートが心配だった

ので、トピアさんに調べてもらつて大

丈夫なら、今の家に愛着があるので、

リフォームでいいのではと考へるよ

うになりました」とKさま。

そしてシミュットハンマーによる

圧縮強度判定の結果は、基礎も問

題なく使えるといつづものでした。

Kさまご夫妻が新しい家に求めたのは、自分たちの今と、年齢を重ねた未来にフィットする居住空間でした。とくに、「口口ナ福のため、見学会や勉強会に出かけたくても思うようにいかない」ともしばしば。「そんな中、地元にある苫小牧支店の工藤支店長」に尽力いただきて、思えばローウィンドウを知ったのも苫小牧支店でのセミナーでした。お話を聞いて期待が高まつたことを覚えていました」とは奥さま。

ひどい湿気とカビの発生を憂いでいた奥さまは、窓を開けずに熱交換換気ができるローウィンドウの機能に注目し、自宅の4カ所で採用することに決めました。

「おかげで結露が解消して快適です。それに家中暖かいので、6台あるテレビをあちこちに置いて、どこでも楽しめるようになります(笑)」

家は建物だけを強化しても不十分です。K邸のように基礎からしっかり耐震補強が必要です。それは新築もリフォームも同じこと。

その上で、K邸はローウィンドウをはじめ最新技術を導入・施工し、

断熱性など住宅性能をアップさせました。間取りも見た目も使いやすくスタイルインシスになつた我が家で今、Kさまたちは愛猫とともに快適で安心安全な暮らしを満喫されています。

## 苫小牧支店

K邸に採用いただいたリフォームは、「一期一家 NEO」という当社の新プランです。これは、断熱・耐震をアップし、パワーフリーなどを組み込んだ従来の「一期一家」、DIウインドウを採用しているのが特長です。Kさまからは快適に暮らしているというお声をいただき、大変うれしく思っております。

当支店にはリフォーム例を実際に見ていただけるショールームがあり、イベントや暮らしにまつわるセミナーなど毎月開催しています。お仕事帰りなどにもぜひお立ち寄りください。

所在地：苫小牧市新開町4丁目2-1

営業時間：9:00~18:00(電話予約で18:00以降も対応)

休日：火曜、水曜

電話番号：0144-53-3003



苫小牧支店のスタッフたち

## 対応エリア

苫小牧市内および千歳市・白老町・厚真町・早来町・むかわ町近郊



イオンモール苫小牧

HAPPY HOME REFORM ハッピーリフォーム

in 北海道

最新技術で断熱・耐震性能をアップ!

# 築30年を迎える家に新しい未来を

最新技術により、家は構造面から新しくすることができます。建て替えか、リフォームか、その判断は難しいのですが、今回はフルリフォームを手掛ける土屋ホームトピアならではの提案で生まれ変わったK邸をご紹介します。



▲玄関・ホール(平面図②)  
収納やキッチンにつながるドアの青がアクセントに。また、一部を吹き抜けにすることで明るさを確保



▲リビング(平面図①)  
以前は家の中心部にあったリビングは西側へ移動。自然光が差し込む温かみのある空間に

築30年を前に我が家が悩ませた寒さや結露

K邸は、Kさまが30代のころに建てた家。家族のことを考えながら造り上げた念願の注文住宅です。自分でできる限りのメンテナンスも行ななど、とても大切にして住んでいたと聞っています。

ところが築30年を目前、「奥さまが寒さや結露のことをたびたび訴えるようになりました。

「冬は廊下やトイレが本当に寒くて、いつかヒートショックで倒れるのではないか」と本気で心配しました」

見た目の古びた感じも気になるようになってきて、Kさまたちはついに家を建て替えることを決意。地元・苫小牧や札幌まで足を伸ばして

情報収集を始めます。その中である迷いも生じてきました。それは建

て替えるしか本当に道はないの

だろうか?といつづります。

実際に訪れた複数のハウスメー

カーでは、解体の費用だけで驚くよ

うな金額を提示されました。そん

なときに出会ったのがトピアです。

基礎のコンクリートが心配だった

ので、トピアさんに調べてもらつて大

丈夫なら、今の家に愛着があるので、

リフォームでいいのではと考へるよ

うになりました」とKさま。

そしてシミュットハンマーによる

圧縮強度判定の結果は、基礎も問

題なく使えるといつづものでした。

## K邸工事前・後 平面図

